



特定非営利活動法人 日本歯周病学会

2015年 第2号 (8月)

ニュースレター

〒170-0003

東京都豊島区駒込 1-43-9 (一財) 口腔保健協会内

TEL : 03-3947-8891 FAX : 03-3947-8341 <http://www.perio.jp/>

発行人 和泉雄一 編集 広報委員会

【主要コンテンツ】

春季学術大会関連のご案内 認定資格申請のお知らせ AAP-JSP/JACP 大会のご案内
各賞・助成等の選考結果と募集 2項・3項理事選出のご案内 若手研究者の集い開催報告

副理事長挨拶「入会して良かったと思われる歯周病学会に」



副理事長 小方頼昌

2015年4月から和泉雄一理事長からの指名により副理事長を拝命しました。大役ですが頑張る所存ですので、どうぞよろしくお願いたします。

日本歯周病学会は、歯周病を克服することにより自分の歯を1本でも多く残すことを目的に1957年に創立された学術団体です。2017年には創立60周年を迎える予定で、会員数も10,000人を目前にしています。歴代理事長および会員の先生方のご尽力により、多くの懸案事項が実現または実現に向けて進んでいます。すでにご存じとは思いますが、再掲させて頂くと①正会員・準会員制度の開始、②年会費の変更および年2回の学術大会参加費の値下げ、③秋季学術大会会期の1日から2日(土・日)への変更、④学会誌のオンライン化(学会抄録号は変更なし)、⑤会員カードの発行、⑥ニュースレターの発行です。

日本歯科大学の沼部大会長による幕張メッセでの春季学術大会の参加者は3,300人を超え、多くの参加者を得ることができました。その春季学術大会のテーマは「有病率8割に対する挑戦!」でした。ニュースレ

ター創刊号で和泉理事長がすでに述べていますが、この7~8割の歯周病患者のうち、本当に重度な患者は8~12%にすぎず、中等度から重度歯周炎で歯周治療が必要な患者は、約30%であると推定されます。

2015年9月12日(土)、13日(日)に松本歯科大学の吉成大会長の下で開催される秋季学術大会(浜松)のテーマは「健康長寿延伸のための歯周病治療 高齢歯周病学の確立に向けて」です。日本は超高齢社会に突入し、現在4人に1人が65歳以上であり、平成23年の歯科実態調査の結果、8020達成者(80歳で20本以上の歯を有する者の割合)は38.3%で、平成17年の調査結果の24.1%から急増しています。また、4mm以上の歯周ポケットを有する者の割合が、80~84歳で33.3%(2005年)から42.6%(2011年)と急増していることから、高齢者に対する歯周治療の普及が急務であり、まさに、秋季学術大会のテーマである「高齢歯周病学の確立」がますます重要になると考えられます。

学会ホームページにあるように、歯周病の病因追求や病態解明、歯周病で破壊された歯周組織の再生を目的とする効果的な再生療法の確立、レーザー・インプラント等の先端技術の歯周治療への導入、歯周病と全身疾患の関係の解明など多岐の分野にわたる研究を活発に行い、国際交流にも力を入れていきたいと考えます。

入会された方々が、入会して本当に良かったと思われる学会にしたいと努力する所存です。会員の皆様のご支援・ご協力をなにとぞよろしくお願いいたします。

第 59 回春季日本歯周病学会学術大会開催のご案内

第 59 回春季日本歯周病学会学術大会を下記のとおり開催いたします。多数の皆様のご参加とご発表をお願いいたします。ご案内申し上げます。

大会長 野口和行

1. **会期** 平成 28 年 5 月 19 日 (木), 20 日 (金), 21 日 (土)

2. **会場** ①かごしま県民交流センター
〒 892-0816 鹿児島市山下町 14-50
TEL 099-221-6600

②宝山ホール
〒 892-0816 鹿児島市山下町 5-3
TEL 099-223-4221

3. 日程

19 日：認定医筆記試験，各種委員会，理事会，理事懇親会

20 日：シンポジウム I，II，総会・評議員会・表彰式，学会学術賞受賞記念講演，国際セッション，特別講演 I (東北大学 山本照子教授)，特別教育講演，一般発表 (口演・ポスター)，企業展示

21 日：倫理委員会企画講演，特別講演 II (バルン大学 Anton Sculean 教授)，教育講演 (鹿児島大学 榎山加綱教授)，シンポジウム III，認定医・専門医教育講演，歯科衛生士シンポジウム，歯科衛生士教育講演，市民公開講座，一般発表 (口演)，臨床ポスター (認定医・専門医)，歯科衛生士発表 (口演・ポスター)，ランチョンセミナー，企業展示

上記プログラム内容には変更が生じる場合がありますので，プログラムの詳細は学術大会ホームページ <http://www.c-linkage.co.jp/jsps59> (日本歯周病学会ホームページ <http://www.perio.jp> からリンクしています) をご覧ください。

4. 参加登録費 (事前参加登録および当日参加登録)

	事前参加登録	当日参加登録
正会員 (歯科医師・医師ほか)	5,000 円	7,000 円
準会員 (上記以外)	3,000 円	4,000 円
非会員 (歯科医師・医師)	10,000 円	12,000 円
非会員 (上記以外)	5,000 円	7,000 円
学生 (歯学部・専門学校生)	—	1,000 円

事前参加登録期間

平成 27 年 10 月 26 日 (月) 正午より

平成 28 年 3 月 31 日 (木) 正午まで

5. 一般演題 (口演・ポスター発表)，および国際セッション演題登録

学術大会ホームページよりご登録ください。

抄録作成については，ホームページ記載の執筆要項 (9 月初旬に公開予定) をご確認ください。準備中に登録された抄録については削除されますので，登録期間以前にはアクセスしないようお願いいたします。なお，郵送による演題登録は原則として受け付けておりません。諸事情のためオンライン登録が不可能な場合には，日本歯周病学会学術大会運営事務局 (株式会社コンベンションリンクージ FAX: 092-437-4182, E-mail: jsps59@c-linkage.co.jp) までご連絡ください。

1) 演題発表資格

学術大会での発表は，1 名 1 演題までです。発表者は必ずしも本学会会員である必要はありません。ただし，非会員が発表者の場合，あるいは共同発表者に含まれる場合は 1 名につき 5,000 円を抄録掲載料としてご負担いただきます。なお，この抄録掲載料は本学術大会にのみ有効です。

2) 演題および抄録登録期間

平成 27 年 10 月 26 日 (月) 正午より

平成 27 年 12 月 21 日 (月) 正午まで (締切厳守)

登録期間終了日は，アクセス集中によるエントリー遅延，不具合が起こりやすいので，早目に登録をお済ませください (登録期間以降は，受付・オンライン修正・削除はできません)。

一般演題 (口演・ポスター発表)，国際セッションの演題登録，発表方法に関する詳細は，学術大会ホームページで案内予定です。

演題登録時には登録サイトにて，留意事項を必ずご確認のうえ，ご応募くださいますようお願い申し上げます。留意事項を逸脱する行為，演題内容は発表をお断りすることがあります。

6. 一般演題の発表方法

口演発表の発表時間は，1 演題 8 分以内，質疑応答 2 分です。PC (Windows Microsoft PowerPoint 2007 以降) による発表とさせていただきます。アップル社製 PC (Mac) をご使用の場合は，ご自身で PC・アダプ

ターをお持ちください。

ポスター発表のポスターのパネルサイズは、高さ 210 cm×幅 90 cm とします。

詳細は、学術大会ホームページをご参照ください。

なお、臨床研究の場合は所属機関の倫理委員会の承認、症例報告の場合には患者の同意、発表内容に関して利益相反に関する内容を明記してください。

第 59 回春季日本歯周病学会学術大会
準備委員長 白方良典
(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科歯周病学分野)
第 59 回春季日本歯周病学会学術大会運営事務局
〒 812-0016 福岡市博多区博多駅南 1-3-6
第三博多借成ビル
株式会社コンベンションリンケージ
TEL : 092-437-4188 FAX : 092-437-4182
E-mail : jsps59@c-linkage.co.jp
学術大会 HP : <http://www.c-linkage.co.jp/jsps59>

第 59 回春季日本歯周病学会学術大会臨床ポスター (認定医・専門医ポスターおよび歯科衛生士症例ポスター) 発表申し込みのご案内

学術大会における臨床ポスター(認定医・専門医ポスターおよび歯科衛生士症例ポスター)発表の演題募集は、一般演題とは別になります。下記の要領でお申し込み頂くこととなりますが、受付は下記の Web サイトのみからになりますのでご注意ください。

<http://www.c-linkage.co.jp/jsps59/>(学会ホームページ) <http://www.perio.jp> から入れます)

演題申し込みおよび抄録作成方法などの詳細はサイト上で公開予定です。認定医・専門医と歯科衛生士症例のポスターカテゴリーごとに必ずご確認ください。なおオンラインでの申し込みが不可能な方は、第 59 回春季日本歯周病学会学術大会運営事務局 (FAX : 092-437-4182, E-mail : jsps59@c-linkage.co.jp) までお問い合わせ下さい。

1. 演題発表資格

いずれのカテゴリーとも、筆頭発表者が学会認定資格(認定医・歯周病専門医あるいは認定歯科衛生士)を有している必要はありません。また本学会会員以外の方でも発表可能です。ただし非会員が筆頭あるいは共同発表者として含まれる場合は、1 名につき 5,000 円を本学術大会限りの抄録掲載料として申し受けます。また、本学術大会における筆頭発表は 1 名 1 演題までといたします。詳細は Web サイトをご参照ください。

2. 演題申込および抄録登録期間

平成 27 年 10 月 26 日 (月) 正午より

平成 27 年 12 月 21 日 (月) 正午まで (締切厳守)

※登録期間終了日はアクセス集中によるエントリー遅延、不具合が起こりやすいので、それ以前の早めの時期に登録をお済ませください。

その他、演題申し込み時には登録サイトにて、留意事項を必ずご確認くださいようご案内申し上げます。留意事項を逸脱する行為および演題内容については発表をお断りすることがあります。**特に「国内未承認薬・材料・機器の使用」「適応外使用」「未承認治療法」に係る症例は臨床ポスターとしての発表は不可です。また臨床研究発表では所属機関の倫理委員会等の承認、症例報告の場合には患者の同意を得ていることをポスターに明記する必要がありますので、ご注意ください。**

発表者は利益相反 (COI) の有無に関わらず、利益相反申告書の提出、ならびにポスター末尾に利益相反に係る開示が求められております。詳細は学術大会ホームページをご参照願います。

3. 臨床ポスター発表の特典

臨床ポスター発表を行うと、筆頭発表者に対して資格申請・更新に必要な所定の研修単位が付与されます(専門医の申請時、および認定医と専門医の更新時の生涯研修単位における業績発表単位は 10 単位、認定歯科衛生士の申請時・更新時の生涯研修単位における業績発表単位は 10 単位)。

4. 臨床・症例ポスターの発表様式

パネルサイズは高さ 210 cm×幅 90 cm といたします。表示形式および表記様式、ポスター討論についての留意事項を Web サイトにてご案内しておりますの

ご確認ください。演題番号の個所や顔写真の掲示場所、承認や同意の記載場所、ポスター討論の時間等細かく規定されておりますので必ずご確認ください。なお、演題登録後における抄録の変更や討論時の発表者交代は認められません。ただし、なんらかの事情で発表ができなくなった場合は運営事務局にご連絡ください。

5. ポスター賞について

本発表は、カテゴリごとに認定医・専門医優秀ポスター賞、ベストハイジニスト賞の選考対象となります。

す（ただし、留意事項を遵守されていない場合は対象外となります）。受賞発表および表彰は次回学術大会（第59回秋季日本歯周病学会学術大会）にて行われます。その際、認定医・専門医最優秀・優秀臨床ポスターについては再掲をいたしますので、発表ポスターの保管にご協力願います。

専門医委員会委員長 坂上竜資
認定医委員会委員長 中島啓介
歯科衛生士関連委員会委員長 澁谷俊昭

認定医、専門医・指導医および認定歯科衛生士制度についてのお知らせ

日本歯周病学会では、本年度の認定医、専門医・指導医および認定歯科衛生士の申請と更新、ならびにその研修施設および学会認定研修会の申請を受け付けます。各資格についてのタイムスケジュールは以下のとおりです。

1. 認定歯科衛生士申請（第22回認定歯科衛生士認定審査）および更新

平成27年11月2日（月）：受付開始
平成27年11月20日（金）：締め切り（消印有効）
平成27年12月中旬：申請および更新に関する書類審査会開催
平成28年2月下旬～3月上旬：（申請者のみ）ケースプレゼンテーション
平成28年5月19日（木）：申請・更新合格者を理事会で承認
平成28年5月20日（金）：第59回春季学術大会時合格発表
平成28年6月：認定歯科衛生士認定証発行

2. 専門医・指導医申請（第54回専門医・指導医認定審査）および各資格の更新

平成27年11月30日（月）：受付開始
平成27年12月18日（金）：締め切り（消印有効）
平成28年1月中旬：申請および更新に関する書類審査会開催
平成28年2月中旬：（専門医申請者のみ）専門医認定試験（ケースプレゼンテーションと口頭試問）開催
平成28年5月19日（木）：各資格申請・更新合格者を理事会で承認

平成28年5月20日（金）：第59回春季学術大会時に合格発表

平成28年6月：専門医・指導医認定証発行

3. 認定医申請（第15回認定医認定審査）および更新

平成28年1月12日（火）：受付開始
平成28年1月29日（金）：締め切り（消印有効）
平成28年2月下旬：申請および更新に関する書類審査会開催
平成28年5月19日（木）：（申請者のみ）筆記試験
会場：かごしま県民交流センター
申請・更新合格者を理事会で承認
平成28年5月20日（金）：第59回春季学術大会時に合格発表
平成28年6月：認定医認定証発行

以上の各資格の申請・更新手続き、申請書類や規則等については、学会ホームページ（<http://www.perio.jp>）をご確認ください。ホームページに記載された方法に準拠しない申請・更新手続きは無効となります。なお、規則・細則は改訂されることがありますので、ホームページにおける申請受付前1カ月以内の最新の記載内容を確認して下さい。

研修施設申請・更新のお知らせ

認定医、専門医を養成する歯科医療機関を認定する制度です。申請・更新受付とも期間は平成27年11月30日（月）～12月18日（金）（消印有効）です。申請・更新手続きについては、学会ホームページ（<http://www.perio.jp>）に記載しておりますので、これに従い

手続きを行って下さい。

認定医・専門医・指導医更新に関わる研修単位を取得できる専門医委員会が認めた歯周病に関する学会および研修会申請についてのお知らせ

歯周病学に関する専門的研修に寄与する学会、指導医等主催による任意の研修会について、研修単位取得

対象研修会としての認定をする制度です。申請期間は平成 27 年 11 月 30 日 (月)～12 月 18 日 (金) です。手続きの方法等を学会ホームページ (<http://www.perio.jp>) に記載しておりますので、これに従い手続きを行って下さい。平成 28 年 1 月末頃までに専門医委員会の審査による認定の諾否を通知いたします。

第 102 回アメリカ歯周病学会共催 日本歯周病学会・日本臨床歯周病学会 2016 大会のご案内

第 102 回アメリカ歯周病学会共催日本歯周病学会・日本臨床歯周病学会 2016 大会 (AAP-JSP/JACP 2016 サンディエゴ大会) が、下記のとおり開催されることとなりました。日本からも多くの先生方が演者として採択されております。皆様のご参加をお願いいたします。

開催日：2016 年 9 月 10～13 日

会場：San Diego Convention Center
San Diego, CA, USA

標記大会の参加登録はアメリカ歯周病学会ホームページから行っていただく予定です。詳しい登録方法は、日本歯周病学会ホームページ (<http://www.perio.jp>) /member/会員向けページに申込用バナーを設置し

ます) およびニュースレターでご案内いたします。

なお今回も、JSP/JACP ポスターセッションが行われます。演題募集は 12 月から開始予定です。優秀な発表には表彰 (JSP/JACP ポスター賞) も行われます。応募資格等につきましては 11 月 1 日までに学会ホームページに掲載されますので、ご確認のうえ奮ってご応募ください。

募集カテゴリ (予定) :

General Poster Session, Clinical Poster Session,
Dental Hygiene Poster Session

理事長 和泉雄一
国際交流委員会委員長 齋藤 淳



第 58 回春季学術大会 (平成 27 年 5 月 15 日, 幕張メッセ) で行われた AAP-JSP/JACP サンディエゴ大会の調印式。

各賞および奨学金助成募集のご案内

下記の募集を行います。いずれも学会ホームページにて詳細をご確認ください。

1. 日本歯周病学会奨励賞 (2015 年度)

奨励賞は、歯周病学の発展に寄与する学術論文を発表した若手研究者を表彰するために、本学会名誉会員見明 清 東京歯科大学名誉教授の寄付金を基金として、1995年に設けられました。ヒューフレディ株式会社のスポンサーシップを得ており、本賞(奨励賞楯)のほかに副賞(500ドル相当)と楯(Hu-Friedy Award)が贈られます。4名以内が選考されますので、学会ホームページの応募資格(11月1日までに掲載予定)をご確認のうえ、奮ってご応募ください。

<http://www.perio.jp/member/award/encouragement.shtml>

申請期間：2015年11月1日～12月18日

申請書類提出用ID：JSP-2015

書類提出用パスワード：JSP2015Shorei

2. 日本歯周病学会教育賞 (2015 年度)

教育賞は、歯周病学教育の発展に寄与した課題を表彰することを目的としております。表彰対象は、歯周病学の教育の発展に寄与する課題です。応募資格は、課題応募者が本学会の会員であること、過去に本賞を受けたことがないことが条件です。なお、本賞は副賞として医歯薬出版株式会社のスポンサーシップを得ており、受賞者には本賞(表彰状)のほかに、副賞(5万円)が贈られます。学会ホームページの応募要項(11月1日までに掲載予定)をご確認のうえ、奮ってご応募ください。なお本賞は応募を郵送で受け付けます。

<http://www.perio.jp/member/award/education.shtml>

申請期間：2015年11月1日～12月18日

3. 奨学金助成 (2015 年度)

日本歯周病学会は、次世代の歯周病学研究の質の向上を支援するために、若手研究者に対する奨学金助成を行います。本奨学金は、本学会が2011年度から基金として準備し、2013年度に設置されたものです。助成者は、申請者から2名以内(1件の上限は100万円)が

選考されます。応募の条件が定められていますので、学会ホームページの規程(11月1日までに掲載予定)をご一読のうえ、若手研究者の皆様には奮ってご応募ください。

<http://www.perio.jp/member/award/scholarship.shtml>

申請期間：2015年11月1日～12月18日

申請書類提出用ID：JSP-2015

書類提出用パスワード：JSP2015Ikusei

4. Young Investigator Award (2016 年度)

本賞は、学術大会発表において優れた研究を発表した若手研究者を表彰することを目的としております。表彰対象は、本学会当該年度の日本歯周病学会 Young Investigator Award に応募し、学術大会に発表された口頭発表とします。本賞は副賞としてサンスター株式会社のスポンサーシップを得ており、受賞者には本賞(賞状)のほかに、副賞(Sunstar Award)と賞金が贈られます。応募の条件が規定されていますので、学会ホームページの応募資格(2016年2月1日までに掲載予定)をご確認のうえ、奮ってご応募ください。

<http://www.perio.jp/member/award/young.shtml>

申請期間：2016年2月1日～3月4日

申請書類提出用ID：JSP-2016

書類提出用パスワード：JSP2016YIA

5. 歯科衛生士教育講演会

開催が決定次第、ホームページで通知いたします。

<http://www.perio.jp/member/>

6. 臨床研修会

平成28年1月31日に熊本にて開催決定いたしました。鳥根、鳥取、青森、宇都宮、大分等開催検討中です。

詳細は決定次第、ホームページで通知いたします。

<http://www.perio.jp/member/>

各賞・助成選考結果

各賞・助成の概要につきましては、学会ホームページに掲載しております。なお対象者および受賞者の所属は、選考・受賞時のものです。

学会賞 (2014 年度)

受賞者氏名は以下のとおりです。

安孫子宜光

(日本大学松戸歯学部名誉教授)



有松 圭

(新潟大学大学院医歯学総合研究科歯周診断・再建学分野)

Oral pathobiont induces systemic inflammation and metabolic changes associated with alteration of gut microbiota (Scientific Reports)



出口眞二

(神奈川歯科大学名誉教授)



氷室沙羅

(昭和大学歯学部歯周病学講座)

The junctional epithelium originates from the odontogenic epithelium of an erupted tooth (Scientific Reports)



谷口威夫

(医療法人谷口歯科医院院長)



山田 梓

(東京医科歯科大学歯科総合診療部)

Diverse functions of secreted frizzled-related proteins in the osteoblastogenesis of human multipotent mesenchymal stromal cells (Biomaterials)



奨励賞 (2014 年度)

受賞者氏名と応募論文題目(発表誌名)は以下のとおりです。

宮島真一

(愛知学院大学歯学部歯周病学講座)

Periodontitis-activated monocytes/macrophages cause aortic inflammation (Scientific Reports)



教育賞 (2014 年度)

受賞者と受賞演題は以下のとおりです。

佐々木大輔

(岩手医科大学歯学部歯科保存学講座歯周療学分野)

「歯周病学教育の新カリキュラム導入」



優秀臨床ポスター賞（第57回春季学術大会）

受賞者と受賞演題は以下のとおりです。

最優秀ポスター賞

亀井英彦

（愛知学院大学歯学部歯周病学講座）

「姉弟に発症した遺伝性歯肉線維腫症に対する包括的治療報告」



研究者育成ファンドによる奨学金助成

対象者氏名は以下のとおりです。

池田裕一

（University of Toronto Faculty of Dentistry Matrix Dynamics Group）



優秀ポスター賞

河野智生

（大阪歯科大学歯周病学講座）

「矯正治療後の歯肉退縮に対して、Biotypeの違いにより術式を変えた結合組織移植術で対応した症例」



平井公人

（The Forsyth Institute Immunology and Infectious Disease）



ベストハイジニスト賞（第57回春季学術大会）

受賞者と受賞演題は以下のとおりです。

伊藤美穂

（医療法人創志会金子歯科医院）

「楔状欠損を有する歯牙における唇側辺縁歯肉のレベルに関する考察」



次期理事（2項・3項理事）選出についてのご案内

特定非営利活動法人日本歯周病学会定款細則により、次期理事の選出について御案内申し上げます。

（特定非営利活動法人日本歯周病学会定款細則より抜粋）
第7条 理事の選出はこの細則に基づいて理事会が行う。

1. 理事は以下の基準のいずれかを満たす者とする。
 - 1) 歯科大学および大学歯学部において歯周病学を担当する教授

- 2) 3年以上の評議員経験者で、歯周病学関連の研究教育に従事する教授
- 3) 5年以上の評議員経験者で歯周病学関連の診療教育に従事する以下の基準のいずれかを満たす学外臨床医（主たる勤務が大学・大学病院の会員は除く）

- ①日本歯周病学会指導医の資格を有している者
- ②歯周病学領域の卒後研修などにおいて、指導的立場から歯科医師の診療および教育などに直接従事

して、業績がありその経験年数が10年以上ある者

2. 理事の定員は以下のように定める。
前項の1), 2), 3) に該当する理事はそれぞれ29大学各1名、15名以内、10名以内とする。
3. 第7条1項の2) および3) の理事の選出は、別に定める内規に基づいて行う。
4. 理事は任期中に担当講座を辞任した場合には、辞任時に理事の任期を解くものとする。なお、第7条1項3) の理事にあつては満70歳を定年とし、理事の任期中に70歳になった場合、その年度で任期満了とする。

上記のうち、第7条1項の2) および3) に該当する理事につきましては、各任期の最終年度に内規に則し次期理事の選任を行います。2) に該当する理事15名(ただし1大学からの推薦枠は2名まで) および3) に該当する理事10名を公募いたします。なお、次期理事の任期は平成29年4月1日より平成31年3月31日になっております。

なお理事選出は、理事選任に関する内規に則って行われますので、応募は現理事による自薦または他薦いずれでも結構です。また提出書類は、履歴、業績、推薦書等ですが、書式につきましては必ず学会事務局((一財)口腔保健協会)にご確認、ご請求下さいますようお願い申し上げます。

応募締切は学会事務局宛に平成27年11月20日(金) 消印有効<<レターパック510(書留)またはそれに準ずる宅配便を利用のこと>>とさせていただきます。

応募書類請求と送付先：日本歯周病学会 事務局
〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9 駒込TSビル4階 (一財)口腔保健協会内
TEL：03-3947-8891, FAX：03-3947-8341

選出は、選挙管理委員会での資格審査後、以下のスケジュールで現理事の郵送による投票、理事会による承認を経て次期理事が決定する予定です。

【次期理事選挙のスケジュール】

平成27年11月20日(金)

公募締切(消印有効)

選挙管理委員会による資格審査

平成28年1月下旬

理事候補者の公示ならびに理事投票用紙の送付
選挙権者は理事(理事選任に関する内規1-II-6-(4))

選挙公示日は2月1日(月)

平成28年2月8日(月)

投票用紙送付締切(必着)

選挙管理委員会による開票

平成28年5月19日(木)

理事会への選挙結果報告ならびに承認

平成28年5月20日(金)

総会への選挙結果報告ならびに承認

備考：次期理事長の選出につきましては、理事長候補有資格者のうち立候補頂いた理事のなかから、理事会(平成28年5月19日開催)における選挙をもって選出いたします。結果につきましては、総会(平成28年5月20日開催)以降にお知らせいたします。

理事選挙管理委員長 八重柏 隆

理事選挙管理副委員長 三谷章雄

理事選挙管理委員 青木 章、北後光信、

中島啓介、長野孝俊

第48回 若手研究者の集い開催報告

第58回春季歯周病学会開催にあたり、若手研究者の集いを5月14日、新宿朝日ビルにて行いました。東京医科歯科大学医学部附属病院整形外科学分野の平井高志先生をお迎えし「難治性神経障害性疼痛のbreakthrough」の講演をしていただきました。

整形外科の歴史から始まり、難知性神経障害性疼痛の成り立ちを解説してもらいました。難知性神経障害性疼痛のなかには炎症性(侵害受容性)→神経障害性→心因性と変異するものもあり、歯周病と共通する多因子性の時間軸をもった疾患であることを示されまし

た。

最新の研究成果として、神経の細胞膜を貫通するタンパク質でNa⁺を制御するVoltage-gated Naチャンネル(NaV)に関する結果が示されました。現在10種類ほどのNaVが確認され、おのおの異なる神経障害に関与しています。このNav合成を阻害するmRNAを細胞に導入すれば治療の道が開けます。ところが神経細胞は特異な形態をしており、核を有する細胞質と末端線維はヒト座骨神経等では、1つの細胞が1mにも達します。知覚神経ではその末梢が表皮直下まで来ており、血管・脊髄や経口投与ではなく、今回その末梢皮下への注射と経皮投与を試みました。その投与方法は荷電ゼラチンと遺伝子とを混合したもので、高い導入効率を示されました。

神経痛の強烈な痛みはNaV1.8が発現している細胞で認められていて、ある種の低分子タンパクはNaV1.8の設計図であるNaV1.8 mRNAの細胞膜への移動を司っていることもわかりました。これを合成するDNAのみを阻害できれば、ほかのNaVへの副作用のリスクも減ります。細胞質内の核近傍で合成されたNaV1.8が神経線維末端に運ばれてくると考え

られていましたが、この低分子タンパクの発見により、前駆mRNAのまま神経線維細胞膜に運ばれそこで転写合成されていることが明らかになりました。また、NaV1.8 mRNAは神経に損傷があってもなくてもその量は変わらず、その亜型d-NaV1.8 mRNAが増えます。この病変mRNAは3-UTR末端部が大きく変異しており、この末端部への遺伝子治療が現在模索されているということでした。

ディスカッションでは、この荷電ゼラチンにmRNAや低分子タンパクを包み、知覚のみならず運動神経にも経皮や舌粘膜下から導入の可能性があることや、新たに示された細胞膜近傍でのmRNAからNaVへの転写のメカニズム、麻酔薬との混合による臨床応用、神経損傷の大きな症例での応用にまで及びました。

これからも歯学の枠にとらわれず、多方面の研究知見や情報を若手研究者の集いから発信できたらと思います。各大学から多数の参加を得て盛会裡に終わりましたこと、ご協力いただきました関係各位にお礼を申し上げます。

世話役 朝日大学 北後光信

編集後記

歯周病学会会員の皆様には、日ごろより大変お世話になっております。前任の島内英俊先生から広報委員会委員長の大任を引き継ぎました。どこまで会員の皆様に満足していただける仕事ができるのか自信はありません。しかし、歴代の広報委員会委員長および委員の先生方のご尽力に報いるために、精一杯努めさせていただきます。

ニュースレター2015年第2号をお届けします。4月の創刊号に続く第2弾です。ご存知のとおり、今年度から、正会員・準会員制度の新設、年会費・学術大会参加費の増減、会員カード発行など大幅な変更が行われております。そして、「最近、雑誌が届かないなあ」と寂しがっておられる会員の方もいらっしゃるかもしれませんが、冊子体の配送を取りやめ(抄録集は除く)しました。当然ながら、情報提供の不足が危惧されます。そこで、それを補う手段としてニュースレターを年2回発行します。ぜひご愛読ください。

さて、本号の内容をみていただけたらおわかりのように、レターという言葉が相応しいのかわからないくらいのボリュームです。副理事長 小方頼昌先生の力強いお言葉から始まり、内容は多岐にわたっています。今後も同様の事態が予想されます。忙しい診療の合間に読まれる先生方におかれましては、まず1頁目にある【主要コンテンツ】をざっと眺めて、ご自分の興味ある記事を見つけていただくのが効率的かと思います。もちろん、今後は必要に応じて改良を重ね、会員の皆様が読みやすい形式にしたいと思います。「レターで取り扱う情報としては、どこまでが必要・十分であるか」についても今後の課題でしょう。会員の皆様からの忌憚のないご意見、ご批判を期待します。

広報委員会委員長 森田 学